広報おおず

市の人口　38,858人（12月末日現在 住民基本台帳による）

男	18,607人	前月比 ＋ 31
女	20,251人	＋ 36
世帯数	10,855世帯	＋ 10
面積	240.93平方キロメートル	

発行　大洲市役所
編集　企画広報課

○よい風習を育て、住みよい環境をつくる。
○交通規則を守り、事故をおこさないようにする。
○老人や子供、また、からだの不自由な人をいたわる。　（大洲市民憲章）

2月の納税　固定資産税　4期

第三十回成人式
社会にはばたく374人

教育委員会では、大人になった自覚と、自ら生きぬこうとする、新成人者を励まし、祝福するため一月十五日「成人の日」午前九時三十分から、市民会館で第三十回成人式を開催しました。

成人式には、約三百人の成人者と、来賓多数が出席しました。

式典は、神山教育委員長の式辞のあと、優良成人者として、中野初美（肱北）、沖野通義（菅田）、山中弘子（新谷）さんが表彰され成人者全員に、記念品が贈られました。

来賓祝辞で近田市長が、自覚と責任感のある立派な社会人になってくださいと激励の言葉を贈りました。

そのあと、木下泰助君（南久米）が、私たちを今日まで、育て導いてくださった父母、先生、先輩に感謝し、立派な社会人になるよう努力いたしますと、答辞を述べました。続いて、沖野通義君（菅田）尾上順子さん（肱北）の意見発表がありました。

最後にアトラクションとして、青年会議所会員による臥竜大鼓があり、出席者全員の記念撮影を行い、大人としてのスタートを祝福し散会しました。

晴れて大人の仲間入りをされた三百七十四人の成人者に、幸多い人生であるよう祈ります。

祝福をうける成人者たち

肱川の汚染を防ごう

私たち市民の日常生活にうるおいを与え、多くの恩恵をもたらせた肱川も、年ごとに水質汚染が深刻化してきました。

「これ以上、汚染を許してはならない。」という市民の願いにこたえて、大洲市・喜多郡・東宇和郡の一市七町一村が一体となり、肱川汚染の原因の究明と対策を図るため、八幡浜地方行政連絡調整協議会が組織され、水質、汚濁調査班、廃棄物調査班、啓蒙調査班の三つの専門部会を設け活動することになり、第一段階として汚染原因と現状などを調査いたしました。

調査の結果、特に目立つことは大腸菌が多いということです。

洗濯機や、し尿浄化槽の普及など生活様式の変化に伴って増加した生活排水、畜産施設、砕石場、製紙工場、製材工場などの諸事業所からの排水、河川工事による濁水などが汚染原因になっています。

十二月定例市議会は、十二月十四日開会、九日間の会期で道路新設、改良事業費、国保高額療養費

これらの施設の適正な管理によって、汚染が防止されるものについては、積極的な行政指導を行うとともに、設置者の責任による管理改善に努めなければなりません。

また、下水道の整備や、終末処理場の建設などの具体的な対策についても検討を進めています。

私たちの川、「肱川」を美しくすることを、肱川流域に住む人々の平素の心がけとして、努めたいものです。

市民一人一人が汚染原を作らない、川へ物を捨てない、流さないようお互いに注意したいものです。

12月定例市議会
一般会計　2億7千6百1万9千円補正

貸付金など二億七千六百一万九千円の一般会計補正予算や職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、教育委員の任命についての同意など二十二議案を審議、そのうち二十一議案を原案どおり可決し、昭和五十一年度大洲市歳入歳出決算の認定に関する議案を継続審査とし、請願、陳情など所要の決定をして、十二月二十二日閉会しました。

可決した主なものは次のとおりです。

一般会計補正予算

補正総額は、二億七千六百一万九千円で、累計は六十億五百十五万六千円になりました。

そのうち、歳出のおもなものは

民生費　二千七百四十八万二千円
国保高額療養費貸付金
〃　特別会計繰出金
老人医療費
衛生費　三百八万五千円
救急医療体制整備
病院事業会計補助金
農林水産事業費
二千三百十一万七千円
改植等促進緊急対策事業
地域農政整備事業
水田裏飼料作物生産奨励補助金
広域農道負担金
林業構造改善事業
土木費　六千百三十八万八千円
道路新設、改良費
富士山線改良事業
打越、沼田線改良事業
太郎宮線改良事業
原材料支給舗装
平地慶雲寺線調査測量
県工事費負担金
丁永橋新設事業
志保町排水路整備
城山公園遊歩道棚設置工事
消防費　四百五十八万八千円
広域消防事務組合負担金
災害復旧費　二百五十万円
現年単独土木災害復旧

会計別補正予算額　（単位千円）

会計別	予算現額	補正額	計
一般会計	5,729,137	276,019	6,005,156
特別会計	1,517,171	△ 14,504	1,502,667
事業会計	946,572	74,164	1,030,736
	8,192,880	335,679	8,538,559

教育委員に
肱川明氏を選任

大洲市教育委員会志田斉委員の任期満了に伴い、後任として肱川明氏（六十歳・菅田町）が、十二月議会で、新しく選任同意されました。

今年こそ火災をなくそう
市民一人一人の協力で!!

火災はちょっとした不注意と油断で、惜しみなく私たちの大切な〃財産と幸せ〃を奪います。

消防署では、今年こそ市民の一人一人の協力を得て火災をなくしたいと、願って活動をしています。

昨年の市内の火災発生件数は三十六件で、損害額は二千六百万円余りに達し、犠牲者も二人ありました。また、救急車は五百五十七人を病院に運び、これは、市民六十七人に一人の割合に当たります。

火災を予防するため、消防署では、市街地を重点に年間を通じて継続的に一般家庭の防火診断を行っています。

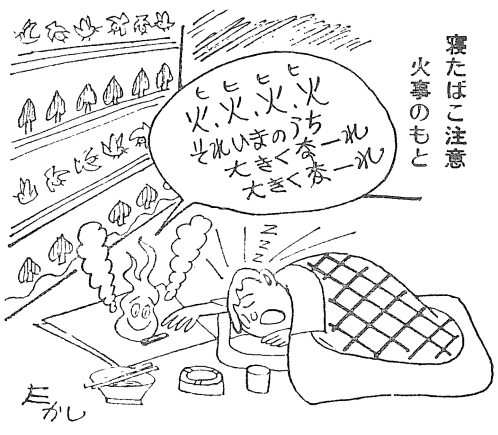
昭和五十二年は約五百世帯を訪問し、〃火災予防〃に留意していただくことが多くありました。

それは次のようなことです。

一、火災に備え消火器、水、バケツなどを用意しておくこと。
二、石油ストーブの上や、近くに洗たく物をほしたり、ふすま、カーテンなど燃えやすい物のそばで使わないこと。
三、ガスコンロのまわりや、上部にフキンなど燃えやすい物をおかないこと。
四、ガスを使った後、器具のコックと中間コック（壁付コック）をしめること。また、ボンベはくさりなで転倒しないよう、保護すること。

火災原因のトップは身近にあるタバコ、たき火、火遊びなどです家族全員で気をつけましょう。もし、火災を起こしたり、見つけた人は早く消防署へ通報してください。

いざ火災となると、あわてて、所在地も言えなくなりますので、必ず目標物を知らせていただければ、早く消防車がかけつけますから大事にならずにすむこともあります。



大洲の文化財
大洲市指定有形文化財
盤珪禅師頂相

所有　大洲市如法寺

盤珪禅師頂相

如法寺には現在盤珪禅師頂相が七幅所蔵されています。頂相というのは、禅僧の肖像画のことです。禅宗では、修業をつんだ印可の証として、師から師の肖像画と法語を与えられるのが習となっています。法は人によって伝わるという禅宗の建前は、師を重んずる即ち師の相をそのまま伝えることですから、頂相は相似を尊び、写実的な描写を主眼としました。しかも、ただ外形だけでなくその人物の精神をも表わそうとしたのです。

写真の頂相は、江戸中橋狩野家親信の描いたもので賢岩和尚の賛があります。

賛文
仏智弘済禅師之像
眺如眉口如担手裏白払毛々
擲大千於方外令万象於交参
左出右没或黙或談
唯説無生話早是落二三
山奄老人讃

山奄老人賢岩和尚は盤珪と交わりのある豊後の名僧です。

盤珪禅師は「不生禅」を唱え、難解だといわれる禅道を平易に説ききかせた、我が国禅界においては最もすぐれた珍しい高僧です。

相談ごと案内

次のとおり無料相談をしますお気軽においでください。

交通事故相談日
とき　2月10日　10時～16時
〃月20日　〃
ところ　市役所第一会議室

人権相談日
とき　2月10日　13時～16時
ところ　旧大洲公会堂内
社会福祉協議会事務室

心配ごと相談日
とき　2月1日　13時～16時
〃　10日　〃
〃　20日　〃
〃　27日　〃
ところ　旧大洲公会堂内
社会福祉協議会事務室

家庭児童相談日
とき　毎日　8時半～17時
ただし、土曜日は12時まで、日曜日、祝日は休みます。
ところ　市福祉事務所

行政相談日
とき　毎日　9時～16時
ただし、月曜日は休みます。
ところ　市民会館

不動産相談日
とき　毎月　15日10時～16時
ところ　宅地建物取引業協会
大洲支部（大洲市若宮横）
愛媛相互銀行大洲支店

休日の急患診療

2月5日　中央病院　④4551
11日　〃　〃
12日　〃　〃　〃
19日　〃　〃　〃
26日　〃　〃　〃

図書館だより

新刊図書案内

高校生の山河　岩淵　国雄
暗い流れ　和田　芳恵
剣岳・点の記　新田　次郎
お聖どん・アドベンチャー　田辺　聖子
ほら男爵現代の冒険　星　新一
馬を売る女　松本　清張
さらば星座上・下　黒岩　重吾
あの夕日　日野　啓三
針女　有吉佐和子
新編三文紳士　吉田　健一
ツボによる健康法　簑内　宗一
戦後日本をダメにした学者・文化人　細川　隆元
戦後日本をダメにした一〇〇人　ばばこういち
日本の子どもをダメにした学校教師　松沢　光雄
戦後日本のプロ野球をダメにした75人　大隅　秀夫
ルーツ（上）　アレックス・ヘイリー
呂宗助左衛門　高野　澄
分水嶺　高橋　玄洋
野望階段　藤本　義一
わが青春の秘密　壇　一雄
こんな幸福もある　佐藤　愛子
そっとさようなら　落合　恵子
花とギリシャの神話　原　恵
ある歴史の娘　犬養　道子
民法面白事典　和久　峻三

同和教育シリーズ

同和対策事業と同和教育

すでに明らかにされましたように、部落差別は人間によってつくられたものです。

しかし、人間社会の歴史的現象だから社会の進化にともない、いつとはなく解消するといって、このまま放置することは、明治以来百年たった今日、なお差別が残っている事実からみても間違っています。このままだと、どれだけの年月を要するかわかりません。

これほど重大な問題を一日も早く解決するためには、なくする手立てと努力が必要なことはいうまでもありません。

行政・教育の課題として同和問題を真正面からとらえ、根本的に解決していこうとするのが同和対策事業と同和教育なのです。

同和地区の人々は長い間教育を受ける権利も十分保障されず、就職の際にも厳しい差別を受けるなど、生活が圧迫されてなかなか貧困から抜け出すことができませんでした。差別が貧困を生み、貧困がさらに差別を生むという悪循環を絶ち切るためには、同和地区の人たちの教育水準の向上と職業の安定を図り、経済力を高めて、部落解放の力量を保障することが先決問題です。

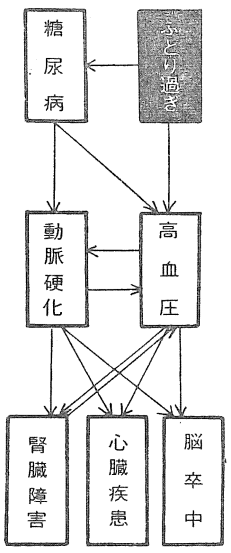
そのため、同和対策事業の面では、環境の整備改善、福祉の増進産業の振興、職業の安定、教育の充実、人権の擁護活動などの施策を国や県、市町村が責任をもって総合的に推し進めています。

また、同和教育は、特に同和問題を教育の面からとらえ、人権意識の高揚、合理的なものの見方、考え方、家庭教育、学校教育、社会教育のあらゆる場ですべての人を対象として行い、差別しない、差別に負けない、差別を許さない人間の育成を目指しているのです。

栄養・運動・休養

これからの健康づくり

成人病シリーズ(18)



冬は、高血圧や動脈硬化が原因で死亡する人が多い季節です。

この十年間の調査をみても、脳卒中や心臓病など循環器系疾患が増え続け、有病率をみると昭和四十年に比べて倍増のいきおいです。

ところで高血圧や動脈硬化は、食生活と深い関係があります。

日ごろの健康づくりは、まず一日三度の食事から、といきたいものです。とくに一月はお正月ということもあって、ごちそうの食べ過ぎ、飲み過ぎ、運動不足も加わって、ふだんの食生活パターンに〝変調〟をきたしがちです。

うっかり生活、病気でガックリしないように、くれぐれもご注意を、というわけで、この機会に、高血圧と動脈硬化の予防、及びこれらの〝元凶〟ともいうべき肥満防止のための食生活について考えてみましょう。

一、肥満防止

ふとり過ぎは、いろいろな病気を招きます。とくに高血圧・動脈硬化、これらの原因となる脳卒中心臓や腎臓の疾患、さらに糖尿病などの成人病と肥満との間には密接な関連があります。

㈠、ふとるしくみ

食生活のうえで〝食べ過ぎ〟というのは、単に量を多く食べるということでなく、消費するエネルギー以上に飲み、かつ食べることを意味します。ですから同じものを食べても、Aさんには食べ過ぎとなり、Bさんにとってはエネルギー不足となることもあるわけです。要は摂取量（食事）と消費量（運動、労働）のバランスの問題です。余分なエネルギーは、体内で脂肪に変えられ、皮下に蓄積されてふとっていきます。

㈡、食生活のポイント

「減食」を原則としますが、むやみに食事の量を減らせばよいというものではありません。

健康を保ち、体力を低下させずに減らすには、順序というものがあります。

第一に、体内で脂肪に変えられ蓄積されやすい糖質、つまり米、パン、めん類、甘いもの、酒類などを減らすこと。

第二は高エネルギーの脂肪を減らすようにしましょう。

からだの組織づくりの役目をはたすタンパク質やミネラル、ビタミン類は減らさず、むしろ多目にします。

なお、食事の回数は一日三回を守るほうが効果的です。一食抜いたという安心感から、かえって食べ過ぎる傾向になりがちなためです。

また、減食の〝落とし穴〟は、間食、コーヒー、紅茶、甘味飲料そして酒類です。砂糖分やアルコールは量の割りにエネルギーが高く、とりすぎになりがちです。

▽減らす食品

油脂類、乳製品のうちクリームチーズなど、油の多い肉、魚、砂糖穀類、いも類、かぼちゃ、バナナ、柿、ぶどうなど甘味の多いくだもの、菓子類、清涼飲料、アルコール飲料

▽食べて安心な食品

緑黄野菜、淡色野菜、甘味の少ないくだもの、とり肉、肉の赤身魚介類（まぐろのトロやさんま以外）、スキムミルク、卵、豆腐、納豆、海草など、コーヒー、紅茶は砂糖を減らす。

母子保健シリーズ㉑

まずからだを鍛える

家庭教育はすべての基本

家庭教育は、幼稚園、保育所や小学校での教育の基盤となっています。いかに先生方が教育上の努力をくり返しても、家庭での教育が十分行われていないときには、効果があがりません。まず、家庭教育をどのように充実したものにするか、両親の間で話し合って欲しいのです。

最近、両親の多くが、知的能力や適応の能力を育てることばかり考えて、人格の中で最も大切な情操を豊かにする教育や自主性を育てる教育をすっかり忘れています。

◇家庭教育では

一、からだを鍛え
二、情操を豊かに
三、自主性をのばし
四、適応能力を養い

そして、それらのうえに知識をさずけることを考えるべきです。

では、それについて、シリーズで考えてみましょう。

一歳六か月児の健康診査を是非うけましょう。

一歳六か月児健康診査を、一歳六か月、一歳七か月の時期に、受けられるよう隔月に実施することになりました。

これはちょうど生後一年六か月の時期が、幼児の心身の発達の異常を早期に発見し、障害が広がるのを防ぐのに一番大切な時期であることがわかってきたからです。

心身共に健全な子ども達を育成するためにも進んでうけましょう。

実施日時　二月十六日　十三時三十分～十四時三十分

実施場所　大洲市民会館

該当者　昭和五十一年七月、八月生

健康診査内容　(1)一般健康診査　(2)歯科健康診査

通知方法　個人通知

ご存じですか

地元をうるおす『たばこ消費税』

愛煙家のみなさん

あなたが毎日吸う〝たばこの税金で〟、地方自治体がどれほどうるおっているかご存じですか。

たばこの税金は全部が国庫に入るのではなく、都道府県と市町村に「たばこ消費税」として、専売公社から納付されます。

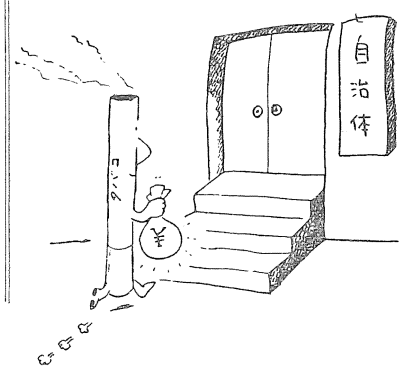
その金額は昭和五十二年度で、二十本入り一箱につき市町村へ二十四円二十五銭、都道府県へ十三円八十銭となっています。

あなたが一日二十本吸っているとしますと、一年間で、地元の市町村と都道府県へ合わせて約一万三千八百八十八円納めている計算になります。

昭和五十一年度のたばこ消費税は、市町村へ二千四百三十四億三千万円でした。

なお、昭和五十二年度は、一昨年十二月の値上げが反映して、前年度に比べて約五割の五千八百八十億円が見込まれています。

昭和五十一年度に大洲市の歳入になった「たばこ消費税」は七千四十六万五千三百四十円でした。



所得税の確定申告と納税

昭和五十二年分所得税の確定申告と納税は、二月十六日から受付が始まります。この申告と納税の期限は、三月十五日までとなっていますが、期限間近になりますと税務署は大変混雑いたしますので、できるだけ早く済ませるようにしてください。

申告書の書きかたなどで、わからない点がありましたら、お気軽に近くの税務署へお尋ねください。

所得控除一覧表（主なもの）

基礎控除　二十九万円

配偶者控除（一般）二十九万円
（老人）二十五万円
扶養控除（一般）二十九万円
（老人）三十五万円
障害者控除（一般）二十三万円
（特別）三十一万円
老年者、寡婦、勤労学生控除　二十三万円
社会保険料控除　支払額の全額
生命保険料控除　最高五万円
損害保険料控除（短期）最高三千円
（長期）最高一万五千円
（短期と長期がある場合）最高一万五千円
医療費控除　最高二百万円

大洲育成園小型バス購入

社会福祉法人大洲育成園は、このたび財団法人中央競馬社会福祉財団（理事長鈴木一）から、小型バス購入資金として百七十二万円の補助金の交付を受けて、入所者（精神薄弱者七十名）の職場実習病気の通院、社会見学などに活用し、大変喜んでいます。

入所者は、日ごろ施設内で生活作業訓練に終始し、一般社会との交流の機会に恵まれないため、今後は、特に小型バスでの社会見学一般民間との交流を密にして、社会性を高め一人でも多くの者が自立更生し、社会に復帰を願っています。

購入された小型バス

愛媛県立保育専門学校入学者の募集について

昭和五十三年度愛媛県立保育専門学校の入学者を次のとおり募集します。

一、募集定員　五十人

二、入学資格

1、学校教育法による高等学校を卒業した者（昭和五十三年三月卒業見込みの者を含む）又は、これと同等以上と認められる者

2、満十八歳以上の者であって児童福祉施設において、二年以上児童の保護に従事した者

三、願書受付及び試験場所　松山市御幸二丁目三番四十一号　愛媛県立保育専門学校

四、その他

詳細は、返信切手同封のうえ、愛媛県立保育専門学校へ照会してください。

たばこは市内で買いましょう

まごころ銀行

次のかたがたが、社会福祉事業のために役立てて下さいと、まごころ銀行へ預託されました。心からお礼申し上げます。

（敬称略）

金一封　殿町　浜浦　和久
金一封（身体障害者協議会へ）本町三丁目早田　芳一
金一封（大洲学園へ）菅田町　村上　邦夫
一万五千円（平野地区社協へ）平野町　大安寺花園会白石泰吉
一千円（拾得金満期による返金）殿町　小五年浜浦　令子
〃　小五年矢野　紀子
〃　小三年田内真理子
五千円（年末たすけあい募金）大洲喜多地区同盟　中本　勇記
五千二百四十円（年末たすけあい募金へ）中村　射場区婦人会一同
三万六千円（年末たすけあい募金へ）伊予銀行大洲支店職員一同
百二十一円　市役所内　匿名
三千百八十一円（二年間のこずかいを預託）平野町（小三年）谷本　浩二
三千百十二円（二年間のこずかいを預託）平野町（小五年）谷本　啓美
十七万一千五百円（年末チャリティバザーの収益金）愛媛青年社会建設隊　南予支部
大洲喜多ブロック長　亀田　稔（市内六施設と臼山園へ配分）（物品の口座）
衣類二十一点（大洲清和園へ）徳森　大野　吉久
衣類七十点（大洲清和園へ）中村　井上　康恵
糖砂十キロ（ホームヘルパー訪問世帯へ）阿蔵　入江トヅミ
ヘルスメーター外　二点（大洲学園へ）柚木　粟田チカヲ
大洲市社会福祉協議会